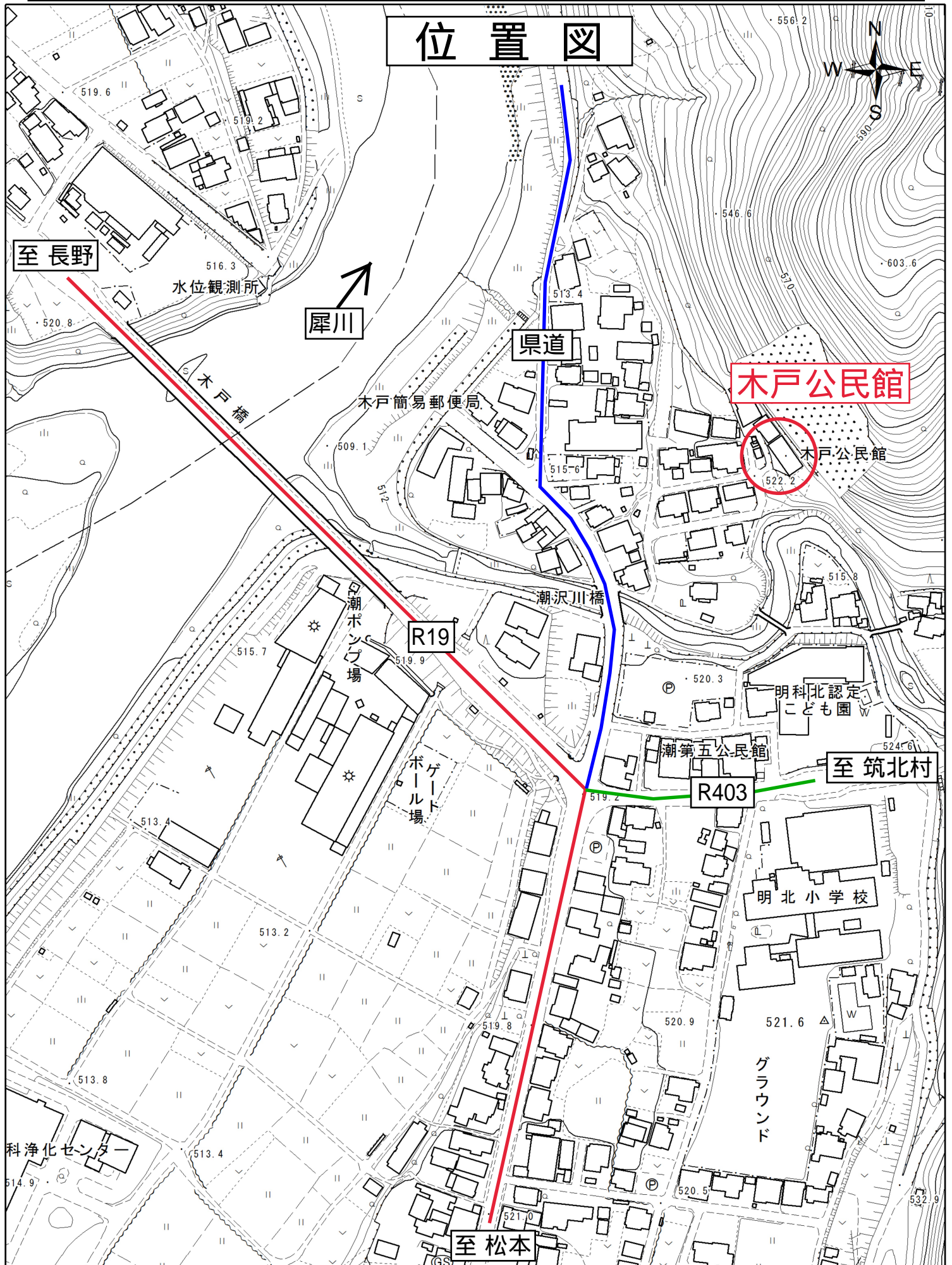


# 令和6年度 木戸公民館擁壁補強工事

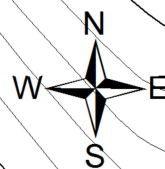
## 位置図



1:2,500

- 1 - 0 45 90 180 m

位置図  
(拡大)



擁壁補強工事  
L=15.9m

市道明科5050号線

市道明科5049号線

木戸公民館

522.2

515.8

1:500

- 2 - 0 5 10 20 m

# 特記仕様書

工事名：令和6年度 木戸公民館擁壁補強工事

箇所名：安曇野市明科中川手

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

## 1 工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおりに。

※工法使用料については4%とし、該当工種は、背面排水材設置工、擁壁補強版材料費、擁壁補強版設置工、補強材工、裏込め注入工、定着・頭部処理工とする。

## 2 工期関係

工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日（契約日）から 令和7年3月24日まで とする。

なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含まれている。

著しい悪天候や気象状況より工程が過去5年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

## 3 工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

## 4 残土・廃棄物関係

(1) 本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

(2) 建設発生土 【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
明科建材(株)	1,900 円/m <sup>3</sup>	4.2 km	安曇野市明科中川手 2058

(3) 特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法） 【 参考 】

種 別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等		
アスファルト塊		再利用	処理工場名	距離 km	
			数 量	t ・ m <sup>3</sup>	
コンクリート塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	信州タケエイ安曇野 リサイクルセンター	
			数 量	10.0 t ・ m <sup>3</sup>	
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名	信州タケエイ安曇野 リサイクルセンター	
			数 量	12.0 t ・ m <sup>3</sup>	
	二次製品	再利用	処理工場名	距離 km	
			数 量	t ・ m <sup>3</sup>	



建設発生木材	処理工場名	距離	km
	数 量	t ・ m <sup>3</sup>	

(4) 産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）

【 参考 】

種 別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等	
木くず (抜根・伐採材)	再利用	処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>
汚 泥		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>
その他（金属クズ）		処理工場名	距離 km
		数 量	0.7 t ・ m <sup>3</sup>
その他（廃プラ）		処理工場名	距離 km
		数 量	t ・ m <sup>3</sup>

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（３）、（４）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

(5) 建設副産物の運搬・処理について

ア 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ 運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ 下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うこと。

オ 受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項

※該当するものを選択する

処理方法※	1 再資源化	2 破碎処理	3 焼却処理	4 埋立処分場	5 その他
処 分 先 (業 者)	業 者 名 住 所		許可番号		
運 搬 委 託 先 (委託の場合)	業 者 名 住 所		許可番号		
そ の 他	資源化の方法など				

・添付書類

ア 処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ 受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ 処理業者の所在地及び計画運搬ルート



## 5 その他

### (1) 関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事 項	制約内容	時 期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路 確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通 学路に係る周知。 各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路 などの確認。各種 行事調整。	上記と同様	上記と同様
安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期 間、迂回路などの 説明及び調整。	関係者等の指導のもと。(ただし、 要求内容が無理難題と判断され る場合には、断ることも必要であ る。また、要求内容については監 督員へ報告すること。特に工事金 額に係る内容は協議を交わすこ と。)	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地 所有者又は管理 者及び工事影響 範囲の利害関係 者など	農地については、 工事の進捗及び営 農上支障になるこ との調整。その他 利害関係者との調 整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所 など	駐車場、案内看板 などの調整。	上記と同様	上記と同様
N T T	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の 移設調整。また、 本工事事への影響 確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調 整。また、本工事 事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様

関係官公庁	本工事に係るこ と	上記と同様	上記と同様
上水道・下水道 部署	埋設物に係るこ と。 また、本工事への 影響確認。	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応 すること。	上記と同様	苦情については、即対 応のこと。要望につい ては、監督員と協議の うえ対応すること。

## (2) 個別事項

- 一 品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。
- 二 平坦性試験は、本工事の舗装打換え面積が1,000㎡以下のため省略する。
- 三 作業時は、交通誘導員を配置するとともに、交通誘導員の安全管理についても留意すること。
- 四 創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。
- 五 本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。
  - (一) 実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙－5の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1内容ずつ（いずれか1費目のみ2内容）、合計5つの内容を選択すること。  
選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。
  - (二) (一) で選択した実施内容について、実際に現場で実施する内容を『現場環境改善費事例集（長野県建設部）』を参考に記載する。
  - (三) この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とする。  
積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。
  - (四) この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行わない。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行う。
  - (五) 受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額する。
- 六 本工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。
  - (一) 境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。
  - (二) 境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。
- 七 本工事は受注者希望による電子納品の対象工事である。実施（の希望）にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書別紙－2『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。
  - (一) 成果品の作成にあたっては長野県『電子納品に係る実施要領』に基づくものとする。
  - (二) 受注者の事情等により、電子納品が困難である場合は、監督員との協議により紙納品とすることができる。
  - (三) 電子納品における書類の作成費用等は共通仮設費率に含まれている。
- 八 本工事は受注者希望による情報共有システムを利用する対象工事である。
  - (一) 利用にあたっては、長野県『情報共有システム実施要領』によるものとする。
  - (二) 利用するシステムは、『長野県情報共有システム機能仕様書』を満たすものから、受注者が選択し、事前に監督員の承認を得るものとする。

(三) 実施内容は以下の項目とし、受発注者間で確認し決定する。

- ・受発注者間の工事打合せ簿等の受け渡し（書類によっては、紙決裁で行う場合を認める）
- ・現場状況の共有
- ・確認・立会依頼
- ・その他 システムで利用可能な項目

(四) システムの利用料及び登録料は、共通仮設費率（技術管理費）に含まれている。

九 本工事は発注者指定型週休2日工事（月単位）の対象工事である。「安曇野市週休2日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休2日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休2日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。

（参考）「安曇野市週休2日工事実施要領」

十 その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

十一 既設埋設物である上水道・下水道管等について、事前に調査・立会いを行うとともに十分注意し施工を行うこと。

十二 着手前に木戸公民館の状態（外壁クラック等）を調査し記録に残すこと。また、施工中・施工直後に変化が生じた場合は報告すること。

十三 施工箇所の前には民家があり居住者用の仮設通路を確保（仮設費計上）する必要がある、施工方法については協議のうえ行い、補強工事施工中は安全確保に努めること。

十四 施工箇所までの市道の幅員が狭く民家が隣接するため、工事車両の選定・通行には十分注意すること。

令和6年4月1日適用版



数 量 集 計 表

工 種	項 目	規 格 等	数 量	設計	単位	摘 要
土工事	掘 削	小規模土工	18	20	m3	
	床 掘		15	20	m3	
	埋 戻		8	10	m3	
	残土運搬処理	発生土	24	20	m3	
	切土法面整形		27	30	m2	
	盛土法面整形		1	1	m2	
	基面整生		1	1	m2	
法面保護工	芝張		28	28	m2	平面図参照
ネットフェンス工	ネットフェンス	H=0.90m	15	15	m	平面図参照
	ネットフェンス用基礎	□180×H450	9	9	個	平面図参照
集水枡工 300×300	集水枡	CO=0.30m <sup>3</sup> 18-8-25BB	2	2	箇所	平面図参照
	グレーチング蓋	300×300 T-6	2	2	ヵ所	平面図参照
排水管布設工	鋼管	SGP80A	14.5	15	m	平面図参照
	鋼管巻立て	CO=0. 1 m <sup>2</sup> 18-8-25BB	1	1	式	
	クラッシャーラン	RC-40	1.3	1	m3	付帯工構造図参照
コンクリート舗装工	コンクリート舗装	18-8-25BB t=10cm	9	9	m2	付帯工構造図参照

# 数量集計表

[illegible]

土 量 計 算 書

No. 1

測 点	横 断 面 積				平均横断面積				距 離	体 積			
	掘 削	床 掘	盛 土	埋 戻	掘 削	床 掘	盛 土	埋 戻		掘 削	床 掘	盛 土	埋 戻
P3.22 3.22	0.0				—				—	—			
P5.5 5.50	0.2	0.0		0.0	0.10				2.3	0.2			
P11.3 11.30	0.8	0.7		0.1	0.50	0.35		0.05	5.8	2.9	2.0		0.3
IP.1 14.10	4.0	0.9		0.4	2.40	0.80		0.25	2.8	6.7	2.2		0.7
P18.0 18.00	0.2	0.4		0.2	2.10	0.65		0.30	3.9	8.2	2.5		1.2
P18.0 18.00	0.2	0.4		0.2	—	—		—	—	—	—		—
P20.0 20.00	0.0	0.2		0.1	0.10	0.30		0.15	2.0	0.2	0.6		0.3
P21.0 21.00	0.0	0.2		0.1	0.00	0.20		0.10	1.0	0.0	0.2		0.1
	CO=0.30												
集水桝													
小 計									17.8	18.2	7.5	0.0	2.6

盛立＝路体　：　埋戻＝転圧



# 土量計算書

[illegible]

土 量 計 算 書

数 量 集 計 表

測 点	切 土 法 面 整 形	盛 土 法 面 整 形	切土法面整形平均	盛土法面整形平均	距 離	切土法面整形面積	盛土法面整形面積	摘 要
P3.22 3.2	0.0	0.0	—	—	—	—	—	
P5.5 5.50	1.4	0.0	0.70	0.00	2.3	1.6	0.0	
P11.3 11.30	2.1	0.0	1.75	0.00	5.8	10.2	0.0	
IP.1 14.10	2.3	0.2	2.20	0.10	2.8	6.2	0.3	
P18.0 18.00	1.8	0.0	2.05	0.10	3.9	8.0	0.4	
P18.0 18.00	1.1	0.0	—	—	—	—	—	
P20.0 20.00	0.0	0.0	0.55	0.00	2.0	1.1	0.0	
P21.0 21.00	0.0	0.0	0.00	0.00	1.0	0.0	0.0	
		CO=0.30		—			—	
	集水枥	18-8-25BB						
計						27.1	0.7	27.8

擁壁補強工 総括数量表 その1

数値は国土交通省土木工事数量算出要領(案)に準拠 No.2023-0401 長野安曇野市木戸公民館(垂直)(V)(市)

名 称	規 格	単位	数 量	設計	備 考
法面整形工	粘性土	m2	20.9	21.0	
既設法面清掃工		m2	10.6	11.0	
背面排水材工	W=150*t=50	m	7.12	7	
擁壁補強板材料費		式	1	1	
パネル	Sタイプ 1穴 1200*1800	枚	3		標準タイプ
パネル	Dタイプ 2穴 1200*1800	枚	8		2穴タイプ
パネル	Hタイプ 1穴 1200*900	枚	1		標準タイプの縦ハーフ
パネル	ST特タイプ (最下段用)	枚	1		最下段横ハーフ
吊り金具	損料	m2	24.2		パネル面積分(ST,ST特,現場打ちは含まない)
据付金具	パネル勾配調整器具	個	13		S+D+H+CS+CD+ST特 枚数分(諸雑費扱い)
目地バックアップ材	t=10 W=20 H=1200mm	m	37.5		H*2.1+ST特*2.4+他*3.0m(参考数量)
擁壁補強板設置工		式	1	1	
	基本段,直線	枚	9		2段目以後の定規となるパネル枚数(要据付コン)
	2段目以降 逆巻,直線	枚	3		2段目以後を逆巻き施工で施工する枚数
	ST特タイプ	枚	1		最下段で用いる高さが半分のSTパネル枚数
	S, D切断	式	1		内訳は別頁に記載。パネル設置は計上済み
補強材工		式		1	
削孔工	二重管90mm粘性土	m	57.09		
削孔工	二重管90mm砂質土	m	5.08		
削孔工	二重管90mm硬岩	m	3.83		
合計		m	66.0		
補強材	D25 L=4.0m	本	6		角座金、ナット、ワッシャー、スぺーサ、加工費含む
補強材	D25 L=3.0m	本	14		角座金、ナット、ワッシャー、スぺーサ、加工費含む
座金	150*150*9 亜鉛メッキ	枚	20		補強材付属品(参考数量)
ナットM24亜鉛メッキ		個	20		補強材付属品(参考数量)
止水パッキン		枚	20		補強材頭部用、地山補強土壁構造図参照
グラウト注入ガイド		個	20		補強材頭部用、地山補強土壁構造図参照
スぺーサー		個	66		補強材付属品(参考数量)
テーパース座金(M24)	5°	個	1		補強材に角度をつける。
テーパース座金(M24)	10°	個	20		補強材に角度をつける。

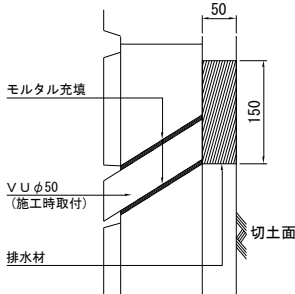
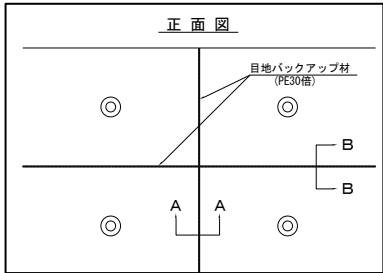


総括数量表 その2

名 称	規 格	単 位	数 量		備 考
補強材挿入工		本	20		
グラウト注入打設工		m3	1.3		割増率:3.200
裏込め注入工		m3	1.9	2.0	割増率:1.200
定着・頭部処理工		箇所	20	20	
現場打ちコンクリート		m3	1.5	2.0	
ST異形差筋アンカー	D13 L=200mm	本	13	13	数量根拠切断図参照（小口止め・現場打ちコン）
小口止めコンクリート		式	1	1	
小口止めコンクリート		m3	0.2		
天 端 工		m	15.35	15.00	斜距離
埋戻しコンクリート工		m	7.17	7.00	水平距離
足 場 工		空m3	35	35	足場工数量表参照
プラント設置工	設置・撤去	式	1	1	
給水設備工		日	4	4	
泥排水処理工		日	2	2	

**擁壁補強工 総括数量表 その1**

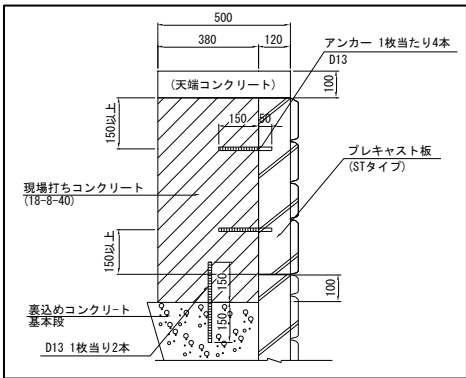
稼働率	6.323	総日数÷削孔機械運転日数			
名 称	規 格	単位	数量	所要日数	備 考
土工事計		日		0.220	
法面整形	粘性土	m2	20.910	0.146	0.7日当り100m2
(背面排水材設置工を含む)	砂質土	m2	0.000	0.000	0.7日当り100m2
	礫質土	m2	0.000	0.000	0.7日当り100m2
	軟岩	m2	0.000	0.000	1.9日当り100m2
	硬岩	m2	0.000	0.000	1.9日当り100m2
	既設法面清掃	m2	10.630	0.074	0.7日当り100m2
パネル設置工事計		日		2.300	
パネル設置工	基本段,直線	枚	9	1.800	1日当り5枚
	2段目以降 逆巻,直線	枚	3	0.300	1日当り10枚
	基本段上部 順巻,直線	枚	0	0.000	1日当り5枚
	基本段, カーフ(台形)	枚	0	0.000	1日当り4枚
	2段目以降カーフ逆巻	枚	0	0.000	1日当り8枚
	基本段上部カーフ順巻	枚	0	0.000	1日当り4枚
	ST特タイフ	枚	1	0.200	1日当り5枚
	ST切断タイフ	枚	0	0.000	1日当り5枚
	順巻き部架台	箇所	0	0.000	1日当り10箇所
削孔工事計		日		1.777	
削孔工	二重管90mm粘性土	m	57.09	1.427	RP式スキットタイフ°10m当り0.25日
	二重管90mm砂質土	m	5.08	0.127	RP式スキットタイフ°10m当り0.25日
	二重管90mm礫質土	m	0.00	0.000	RP式スキットタイフ°10m当り0.38日
	二重管90mm玉石混じり土	m	0.00	0.000	RP式スキットタイフ°10m当り0.54日
	二重管90mm軟岩	m	0.00	0.000	RP式スキットタイフ°10m当り0.45日
	二重管90mm硬岩	m	3.83	0.223	RP式スキットタイフ°10m当り0.58日
移設工		回	2	0.625	1日当り3.2回
補強材挿入組立工		本	20	0.360	(0.9×0.2)日当り10本図挿入工のみ(組立は含まず)
グラウト注入打設工		m3	1.34	0.327	1日当り4.1m3
裏込め注入工		m3	1.90	0.665	1m3当り0.35日
定着・頭部処理工		箇所	20	0.749	1日当り26.7箇所
充填材(コンクリート)		m3	0.00	0.000	0.9日当り10m3
足場工		空m3	35.08	0.807	100空m3当り2.3日
機械搬入搬出		日	2	2.000	開始、終了時
実作業日		日		9.830	
休日		日	0.143	1.406	4週4休0.143 4週8休 0.286
掘削待機等		日		0.000	必要時のみ考慮
削孔機械運転日数		日		1.777	
総日数		日		11.236	

LL 総括数量表	計 算 式（四捨五入数位まで表示）	数 量
法面整形工	整形工合計 = 31.542 m2  法面比率計算より 合計数量 × 比率	
粘性土	31.542 × 0.663	20.91 m2
砂質土	31.542 × 該当なし	0.00 m2
礫質土	31.542 × 該当なし	0.00 m2
軟岩	31.542 × 該当なし	0.00 m2
硬岩	31.542 × 該当なし	0.00 m2
既設法面清掃	31.542 × 0.337	10.63 m2
合計		31.54 m2
パネル板設置工	法面整形 - 現場打コン - 天端コン - 小口止めコン面積 31.54 - 3.91 - 1.54 - 0.76	25.33 m2
背面排水材工	展開図及び擁壁補強工法数量表による	7.12 m
		
パネル材料	展開図及び擁壁補強工法数量表による	
Sパネル	(Sパネル-内CS)	3 枚
Dパネル 2穴	(Dパネル-内CD)	8 枚
Hパネル		1 枚
STパネル	(STパネル-内ST特)	0 枚
CSパネル		0 枚
CDパネル 2穴		0 枚
CTパネル		0 枚
ST特パネル		1 枚
吊り金具損料	パネル設置面積-ST面積-ST特面積 25.33-0-1*1.08	24.25 m2
据付金具	上記の(S+D+H+CS+CD+ST特)枚数分	13 個
目地バックアップ材	(S+D+ST+CS+CD+CT) × 3.0m+H × 2.1m+ST特 × 2.4m (3+8+0+0+0+0)*3.0+1*2.1+1*2.4	37.50 m
		



パネル設置工	擁壁補強工法数量表による					
	基本段,直線	2段目以後の定規となるパネル枚数(要据付コン)				9 枚
	2段目以降 逆巻,直線	2段目以後を逆巻き施工で施工する枚数				3 枚
	STタイプ	最下段で用いる高さが半分のSTパネル枚数				1 枚
	S, D切断	内訳は別頁に記載。パネル設置は計上済み				1 式
	基本段に伴う裏込コンクリート					
	S、D	8	×	0.605 =	4.84 m3	
	H	1	×	0.303 =	0.30 m3	
	(基本段枚数 × 1枚当たり基準体積)				計 5.14 m3	
	1枚当たり基準体積は標準積算資料4-5参照					
削孔工	削孔長合計= 66.0 m					
	削孔比率計算より					
	合計数量	×	比率			
	粘性土	66.0	×	0.865	57.09 m	
	砂質土	66.0	×	0.077	5.08 m	
	礫質土	66.0	×	該当なし	0.00 m	
	玉石混じり	66.0	×	該当なし	0.00 m	
	軟岩	66.0	×	該当なし	0.00 m	
	硬岩	66.0	×	0.058	3.83 m	
	合計				66.00 m	
補強材料	削孔工および補強材本数集計表参照 (削孔長と補強材長は同じ。材質はSD345)					
座金	補強材付属品	(補強材本数と同じ)			20 枚	
ナット	補強材付属品	(補強材本数と同じ)			20 個	
ワッシャー	補強材付属品	(補強材本数と同じ)			0 個	
止水パッキン	削孔工および補強材本数集計表参照 (補強材本数と同じ)				20 枚	
グラウト注入ガイド	削孔工および補強材本数集計表参照 (補強材本数と同じ)				20 個	

スぺーサー D25,D29,D32兼用	L=1.0mに1ヶ所設置を基本 補強材付属品 削孔工および補強材本数集計表より 10m超 12 * 0 + 11 * ( 0 + 0 ) +10 * 0 10～6m 10 * 0 + 9 * ( 0 + 0 ) + 8 * ( 0 + 0 ) + 7 * ( 0 + 0 ) + 6 * ( 0 + 0 ) 5～1m 5 * ( 0 + 0 ) + 4 * ( 0 + 6 ) + 3 * ( 0 + 14 ) + 2 * ( 0 + 0 ) + 1*( 0 + 0 )				0 個 0 個 66 個 66 個																																								
テーパー座金 5° (M24) 10°	補強材本数 × 必要個数	1	×	1 =	1 個																																								
	補強材本数 × 必要個数	20	×	1 =	20 個																																								
補強材挿入工	削孔工および補強材本数集計表参照 (補強材本数と同じ)				20 本																																								
定着・頭部処理工	削孔工および補強材本数集計表参照 (補強材本数と同じ)				20 箇所																																								
グラウト注入打設工	割増率:3.200(国交省積算基準による) 配合は標準積算資料4-7-6参照. $\pi \times 0.045^2 \times 66.0 \times 3.2$				1.34 m3																																								
裏込め注入工	法面整形比率より平均割増率を計算 <table border="1"><thead><tr><th>土質</th><th>①割増率</th><th>②法面比率</th><th>①×②</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>粘性</td><td>1.200</td><td>0.663</td><td>0.796</td><td></td></tr><tr><td>砂質</td><td>2.000</td><td>該当なし</td><td>0.000</td><td></td></tr><tr><td>砂礫</td><td>2.500</td><td>該当なし</td><td>0.000</td><td></td></tr><tr><td>軟岩</td><td>3.000</td><td>該当なし</td><td>0.000</td><td></td></tr><tr><td>硬岩</td><td>3.000</td><td>該当なし</td><td>0.000</td><td></td></tr><tr><td>既設法面</td><td>1.200</td><td>0.337</td><td>0.404</td><td></td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>1.000</td><td>1.200</td><td>←平均割増率</td></tr></tbody></table> 各土質の割増率は標準積算資料4-6-(4)参照 裏込め注入量=裏込め(平均断面法)より×平均割増率 $1.581 \times 1.200$				土質	①割増率	②法面比率	①×②	備考	粘性	1.200	0.663	0.796		砂質	2.000	該当なし	0.000		砂礫	2.500	該当なし	0.000		軟岩	3.000	該当なし	0.000		硬岩	3.000	該当なし	0.000		既設法面	1.200	0.337	0.404		計		1.000	1.200	←平均割増率	1.90 m3
土質	①割増率	②法面比率	①×②	備考																																									
粘性	1.200	0.663	0.796																																										
砂質	2.000	該当なし	0.000																																										
砂礫	2.500	該当なし	0.000																																										
軟岩	3.000	該当なし	0.000																																										
硬岩	3.000	該当なし	0.000																																										
既設法面	1.200	0.337	0.404																																										
計		1.000	1.200	←平均割増率																																									

天端工	求積図による (天端パネルに沿った斜面長)	15.353 m
埋戻しコンクリート	求積図による (最下段パネルの水平長)	7.172 m
足場工	足場工数量表による	35.1 空m3
移設工	足場工数量表による (各測点における足場の最大段数)	2.0 回
S、Dパネル切断枚数	切断図による (S、D、H、ST特タイプ) 設置費は基本段、2段目以後で計上	6 枚
S、Dパネル切断長	切断図による (S、D、H、ST特タイプ)	6.53 m
STパネル切断枚数	切断図による (ST・CTタイプ) 設置費はパネル設置工の1式内に含まれる	0 枚
STパネル切断長	切断図による (ST・CTタイプ)	0.00 m
STパネル切断面積	切断図による (ST・CTタイプ) 裏込め面積から控除される	0.00 m2
ST補強コンクリート	地山補強土壁構造図による (ST・CTタイプ)	0.00 m3
ST異形差筋アンカー (D13 L=200mm)	切断図による (ST・CTタイプ) ST・CTパネルの大きさにより設置本数が変化する	13 本
		
現場打ちコンクリート面積	切断図による 裏込め面積から控除される	3.91 m2
現場打ちコンクリート	切断図による	1.46 m3
充填材(コンクリート)前面	充填材(コンクリート)数量表による パネル背面幅が大きいときに摘要 裏込め面積から控除される	0.00 m2
充填材(コンクリート)	充填材(コンクリート)数量表による 他のコンクリートとは区別される	0.00 m3
充填材(コンクリート)背面	充填材(コンクリート)数量表による 充填材背面の型枠数量	0.00 m2
小口止めコンクリート正面	切断図による	0.76 m2
小口止コンクリート側面積	小口止め側面図による	0.62 m2

小口止めコンクリート	側面図が台形の場合は手計算で算出する	0.19	m3																																																				
小口止側面差筋 (D13 L=300mm)	パネル1枚につき2本(構造図参照)	0	本																																																				
補強・現場打ちコン差筋 (D13 L=300mm)	基本段の裏込コンまたは背面コンと上部のST補強コン、現場打ちコン間の差筋(転倒防止)	0	本																																																				
順巻き部架台	順巻き施工でパネル背面が75cm以上開いている場合に使用	0	箇所																																																				
水抜き管工	背面排水だけでは地下水を処理しきれない場合に使用	0	本																																																				
プラント設置工	グラウト、裏込め注入用プラント	1	式																																																				
泥排水処理工	削孔時の泥排水処理 RP式スキッドタイプ° 削孔日数 <table><tr><th rowspan="2">土質</th><th rowspan="2">延長</th><th colspan="2">標準速度</th><th colspan="2">削孔日数</th></tr><tr><th>スキッド</th><th>クローラ</th><th>スキッド</th><th>クローラ</th></tr><tr><td>粘性土</td><td>57.1</td><td>40.0</td><td>43.5</td><td>1.5</td><td>1.4</td></tr><tr><td>砂質土</td><td>5.1</td><td>40.0</td><td>43.5</td><td>0.2</td><td>0.2</td></tr><tr><td>礫質土</td><td>0.0</td><td>26.3</td><td>28.6</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>玉石混り</td><td>0.0</td><td>18.5</td><td>20.8</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>軟岩</td><td>0.0</td><td>22.2</td><td>25.0</td><td>0.0</td><td>0.0</td></tr><tr><td>硬岩</td><td>3.8</td><td>17.2</td><td>19.2</td><td>0.3</td><td>0.2</td></tr><tr><td>合計</td><td>0.0</td><td></td><td></td><td>2</td><td>2</td></tr></table>	土質	延長	標準速度		削孔日数		スキッド	クローラ	スキッド	クローラ	粘性土	57.1	40.0	43.5	1.5	1.4	砂質土	5.1	40.0	43.5	0.2	0.2	礫質土	0.0	26.3	28.6	0.0	0.0	玉石混り	0.0	18.5	20.8	0.0	0.0	軟岩	0.0	22.2	25.0	0.0	0.0	硬岩	3.8	17.2	19.2	0.3	0.2	合計	0.0			2	2	2	日
土質	延長			標準速度		削孔日数																																																	
		スキッド	クローラ	スキッド	クローラ																																																		
粘性土	57.1	40.0	43.5	1.5	1.4																																																		
砂質土	5.1	40.0	43.5	0.2	0.2																																																		
礫質土	0.0	26.3	28.6	0.0	0.0																																																		
玉石混り	0.0	18.5	20.8	0.0	0.0																																																		
軟岩	0.0	22.2	25.0	0.0	0.0																																																		
硬岩	3.8	17.2	19.2	0.3	0.2																																																		
合計	0.0			2	2																																																		
給水設備工	削孔とグラウト、裏込め注入の所要日数の合計	4	日																																																				
事前引抜試験	土質定数が不確実な場合に実施	0	式																																																				

擁壁補強 総括数量表 その1

No.2023-0401

長野安曇野市木戸公民館(垂直)(V)(市)

	Sパネル (枚)	Dパネル (枚)	Hパネル (枚)	STパネル (枚)	背面排水材 (m)	直線パネル 基段(枚)	曲線パネル 基段(枚)	2段目以降 (枚)	内 CS	内 CD	内 CT	内 ST特	逆巻・順巻
1段目		6	1			7		0					逆巻
2段目	3	2		1	7.12	2		3				1	逆巻
合計	3	8	1	1	7.12	9	0	3	0	0	0	1	

法面整形工：（面積）	31.5（m2）
パネル板設置工（面積）	25.3（m2）
背面排水材設置：	7.1（m）
パネル板材料費：Sタイプ	Sパネル 3 枚      CSパネル 0 枚
パネル板材料費：Dタイプ	Dパネル 8 枚      CDパネル 0 枚
パネル板材料費：H・CTタイプ	Hパネル 1 枚      CTパネル 0 枚
パネル板材料費：STタイプ	STパネル 0 枚      ST特パネル 1 枚
パネル板設置工(1段目)：	9（枚）
パネル板設置工(2段目以降)：	3（枚）
パネル板設置工(STタイプ)：	1（枚）
削孔工(合計)：	66.0（m）
移設工(上下移動)：	2（回）
補強材材料費：	総括数量表参照
補強材挿入工：	20（本）
注入打設工（割増率3.200）：	1.3（m3）
裏込め注入工(割増率1.2)：	1.9（m3）
定着・頭部処理工：	20（箇所）
天端工：(斜距離)	15.35（m）
埋戻しコンクリート：	7.17（m）
足場工：	35（空m3）

SDH切断枚数(枚)	6	備考
SDH切断長(m)	6.5	
ST切断枚数(枚)	0	CT含む
ST切断長(m)	0.0	CT含む
ST切断面積(m2)	0.0	CT含む
補強コンクリート(m3)	0.0	ST・CT面積× 0.38m
異形差筋(本) D13 L=200mm	13	小口止め・現場打ちコン
異形差筋(本) D13 L=300mm		
現場打ちコンクリート面積(m2)	3.9	
現場打ちコンクリート(m3)	1.5	現場打コンクリート面積× 0.373m
充填材(コンクリート)前面積(m2)	0.0	
充填材(コンクリート)(m3)	0.0	
充填材(コンクリート)背面積(m2)	0.0	
小口止めコンクリート正面積(m2)	0.8	
小口止めコンクリート側面積(m2)	0.6	同勾配の奥行は現場打厚さとなる
小口止めコンクリート(m3)	0.2	側面積×厚み(m) 0.30m
裏込コンクリート面積(m2)	0.0	裏込注入面積より控除
裏込コンクリート体積(m3)	5.1	基本段枚数×規定断面積
		斜長      面積
パネル板設置面積は天端コン面積も控除しています。		0.100 m      1.54 m2

擁壁補強 総括数量表 その1

( D25 )

No.2023-0401 長野安曇野市木戸公民館(垂直)(V)(市)

	10.0m	9.5m	9.0m	8.5m	8.0m	7.5m	7.0m	6.5m	6.0m	5.5m	5.0m	4.5m	4.0m	3.5m	3.0m	2.5m	2.0m	小計(本)
1段目													6		7			13
2段目															7			7
小計(本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	14	0	0	20
合計(m)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	24.0	0.0	42.0	0.0	0.0	66.0

**足場工数量表**

測点	測点間距離 (m)	面積 (空m3/m)	二測点平均面積	足場工数量 (空m3)	削孔機移設 (回)	備考
始点		0.79			1	P5.5と同等値
P5.5	2.276	0.79	0.790	1.80	1	
P11.3	5.933	4.97	2.880	17.09	2	
P14.7	1.084	3.60	4.285	4.64	2	
P13.5	1.660	2.10	2.850	4.73	2	
P20.0	4.030	0.87	1.485	5.98	1	
終点	0.971	0.87	0.870	0.84	1	P20.0と同等値
合計	・曲線区間の測点間距離は長い方を使用する ・移設回数はきつい縦断勾配がある場合は実数を使用する			35.08	最多移設回数 2	



### 裏込め体積(平均断面法)

測点	測点間距離 (m)	面積 (m <sup>2</sup> )	二測点平均面積	裏込め体積 (m <sup>3</sup> )	備考
始点		0.15			P5.5と同等値
P5.5	1.976	0.15	0.150	0.296	
P11.3	5.933	0.06	0.105	0.623	
P14.7	1.084	0.06	0.060	0.065	
P13.5	1.660	0.06	0.060	0.100	
P20.0	4.030	0.14	0.100	0.403	
終点	0.671	0.14	0.140	0.094	P20.0と同等値
	15.354	0.76			
合計	・裏込め厚が極端に広い場合に使用。			1.581	

# 削孔比率

粘性土

測点	測点間距離 (m)	断面削孔長 (m)	二測点平均削孔長	削孔長 (m)	備考
始点		4.476			P5.5と同等値
P5.5	1.976	4.476	4.476	8.84	
P11.3	5.933	10.228	7.352	43.62	
P14.7	1.084	10.228	10.228	11.09	
P13.5	1.660	10.228	10.228	16.98	
P20.0	4.030	4.412	7.320	29.50	
終点	0.671	4.412	4.412	2.96	P20.0と同等値
合計				112.99	

削孔比率

砂質土

測点	測点間距離 (m)	断面削孔長 (m)	二測点平均削孔長	削孔長 (m)	備考
始点		0.524			P5.5と同等値
P5.5	1.976	0.524	0.524	1.04	
P11.3	5.933	0.772	0.648	3.84	
P14.7	1.084	0.772	0.772	0.84	
P13.5	1.660	0.772	0.772	1.28	
P20.0	4.030	0.588	0.680	2.74	
終点	0.671	0.588	0.588	0.39	P20.0と同等値
合計				10.13	

# 削孔比率

硬 岩

測点	測点間距離 (m)	断面削孔長 (m)	二測点平均削孔長	削孔長 (m)	備考
始点		1.000			P5.5と同等値
P5.5	1.976	1.000	1.000	1.98	
P11.3	5.933	0.000	0.500	2.97	
P14.7	1.084	0.000	0.000	0.00	
P13.5	1.660	0.000	0.000	0.00	
P20.0	4.030	1.000	0.500	2.02	
終点	0.671	1.000	1.000	0.67	P20.0と同等値
合計				7.64	

### 削孔比率表

土質	削孔長	比率	備考
粘性	112.99	0.865	
砂質	10.13	0.077	
硬岩	7.64	0.058	
合計	130.76	1.000	

この削孔長合計は削孔比率をもとめるため平均断面によるものであって、実際の削孔延長とは異なります。

# 法面整形比率

粘性土

測点	測点間距離 (m)	法長 (m)	二測点平均法長	面積 (m2)	備考
始点		0.000			
P5.5	2.276	0.000	0.000	0.00	
P11.3	5.933	2.590	1.295	7.68	
P14.7	1.084	2.590	2.590	2.81	
P13.5	1.660	2.590	2.590	4.30	
P20.0	4.030	0.230	1.410	5.68	
終点	0.971	0.230	0.230	0.22	P20.0と同等値
合計				20.69	

法面整形比率

既設法面

測点	測点間距離 (m)	法長 (m)	二測点平均法長	面積 (m2)	備考
始点		1.119			求積図より
P5.5	2.276	1.405	1.262	2.87	
P11.3	5.933	0.000	0.703	4.17	
P14.7	1.084	0.000	0.000	0.00	
P13.5	1.660	0.000	0.000	0.00	
P20.0	4.030	0.000	0.580	2.34	
終点	0.971	1.160	1.160	1.13	P20.0と同等値
合計				10.51	



### 法面整形比率表

土質	面積	比率	備考
粘性	20.69	0.663	
既設法面	10.51	0.337	
合計	31.20	1.000	

この面積は整形比率をもとめるため断面平均によるものであって、実際の法面整形面積とは異なります。

## 資材単価等について

令和6年度木戸公民館擁壁補強工事に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和6年度実施設計単価表」や積算資料(財団法人経済調査会)及び建設物価(財団法人建設物価調査会)に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(円)

製 品 名	規 格	採用単価	単位	備 考
擁壁補強板	Sタイプ 1790×1190×120mm 1穴	83,400	枚	
擁壁補強板	Dタイプ 1790×1190×120mm 2穴	102,300	枚	
擁壁補強板	Hタイプ 890×1190×120mm 1穴	51,300	枚	
擁壁補強板	STタイプ 1790×595×120mm 1穴	43,400	枚	
背面排水材	50×150×1800	2,100	m	
ラフテレーンクレーン	作業料金 長期割引あり 16t吊 オペレータ付 日極	38,800	日	
専用吊金具		650	m2	
背面排水材	フィルトロン 50×150×1800	2,100	m	
ダイヤモンド切断工法	床版CO T20cm 第1カッター興業	9,539	m	
シャンロッド(ハンマーサブ)	φ90mm用(95mm)	69,200	個	
クリーニングアダプター	φ90mm用(95mm)	115,000	個	
エキステンションロッド	φ90mm用(95mm)	39,000	個	
ドリルパイプ	長1.5m φ90mm用(95mm)	56,300	本	
インナーロッド	長1.5m φ90mm用(95mm)	44,000	本	
リングビット	φ90mm用(95mm)	57,600	個	
インナービット	φ90mm用(95mm)	32,400	個	
ウォータースイベル	イッシュー付 φ90mm用(95mm)	129,000	個	
ラフテレーンクレーン	作業料金 長期割引あり 25t吊 オペレータ付 日極	43,200	日	
補強材	D25 L=4.0m	18,920	本	
補強材	D25 L=3.0m	14,710	本	
止水パッキン	5×150×150	52	枚	
クラウド注入ガイド	L=200 10度傾斜	4,350	個	
テーパース座金	M24 5°	240	個	
テーパース座金	M24 10°	900	個	
ポルトランドセメント	早強 25kg入袋	690	袋	
高性能減水材	非AE 標準型 マスターロック ELC400	577	L	
ベントナイト	250メッシュ 25kg袋	1,197	袋	

## 資材単価等について

令和6年度木戸公民館擁壁補強工事に係る工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和6年度実施設計単価表」や積算資料(財団法人経済調査会)及び建設物価(財団法人建設物価調査会)に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

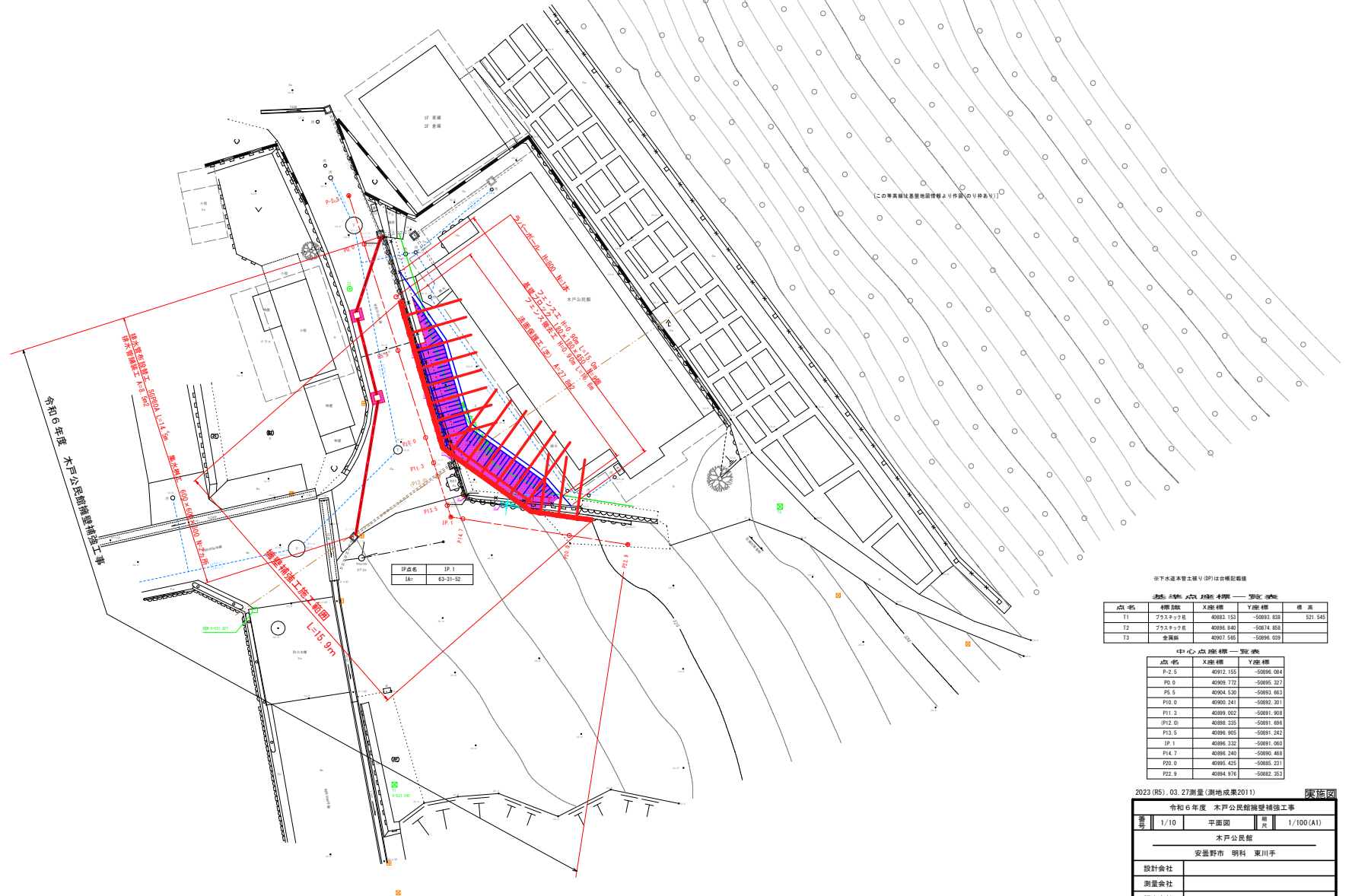
なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価

(円)

[illegible]

安曇野市 明科 東川手  
(木戸公民館)



※下水道本管土被り(DP)は台帳記載値

点名	標識	X座標	Y座標	標高
T1	プラスチック板	40883.153	-50893.838	521.545
T2	プラスチック板	40896.840	-50874.858	
T3	金属板	40907.565	-50896.039	

点名	X座標	Y座標
P-2.5	40912.155	-50896.084
P0.0	40909.732	-50895.327
P5.5	40904.570	-50893.663
P10.0	40900.241	-50892.301
P11.3	40899.002	-50891.908
P12.0	40898.335	-50891.696
P13.5	40896.905	-50891.242
IP.1	40896.332	-50891.060
P14.7	40896.240	-50890.468
P20.0	40895.425	-50885.231
P22.9	40894.976	-50882.353

2023 (R5). 03. 27測量(測地成果2011)

宝施区

令和 6 年度 木戸公民館整備補強工事			
番字	1/10	平面図	縮尺 1/100 (A1)
木戸公民館			
安曇野市 明科 東川手			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 総務部 財産管理課			

令和4年度 債務負担行為 木戸公民館擁壁測量調査設計業務委託

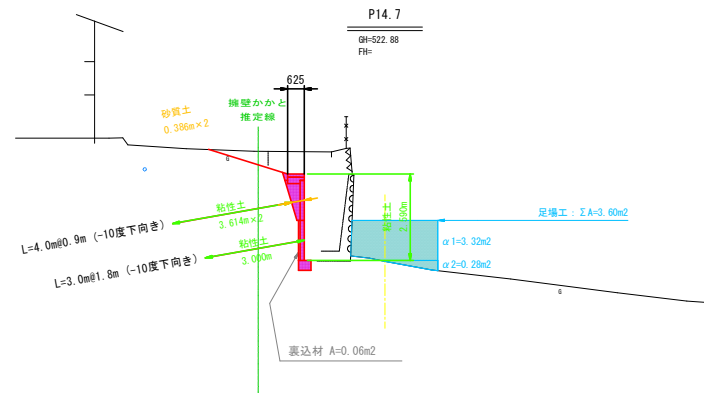
※ 現場確認事項

- ・地下埋設物や構造物、架設線や建物などの接触に注意してください。
- ・調査設計時点より変状範囲の拡大が起きている可能性があることから、施工前に確認し、必要に応じて協議・変更を行ってください。

### 擁壁補強横断図

擁壁補強工 数量表

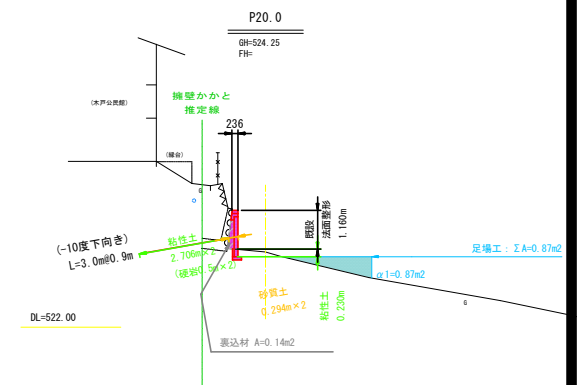
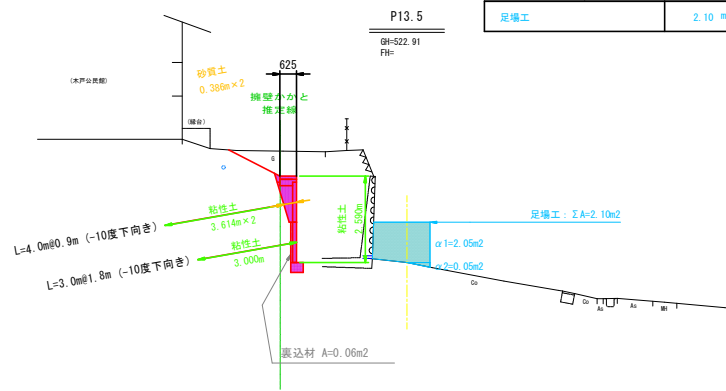
	面 積	
表込材	0.06 m <sup>2</sup>	
土 質	法面整形	剛 孔
粘性土	2.590 m	10.228 m
砂質土	—	0.772 m
表込めコン		
合計	2.590 m	11.000 m
足場工		3.60 m <sup>2</sup>



	面 積	
表込材	0.14 m <sup>2</sup>	
土 質	法面整形	削 孔
粘性土	0.230 m	4.412 m
砂質土	—	0.588 m
表込材	—	
硬岩	—	1.000 m
既設ブロック	1.160 m	
合計	1.390 m	6.000 m
足場工		0.87 m <sup>2</sup>

擁壁補強工 数量表

	面 積	
裏込材	0.06 m <sup>2</sup>	
土 質	法面整形	削 孔
粘性土	2.590 m	10.228 m
砂質土		
裏込めコン	—	0.772 m
合 計	2.590 m	11.000 m
足場工	2.10 m <sup>2</sup>	



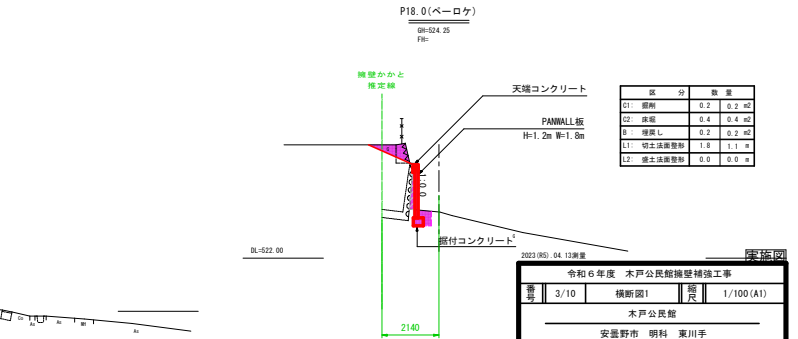
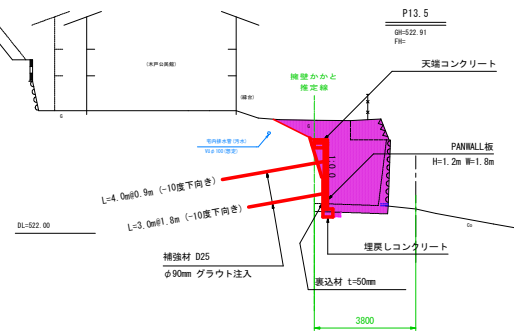
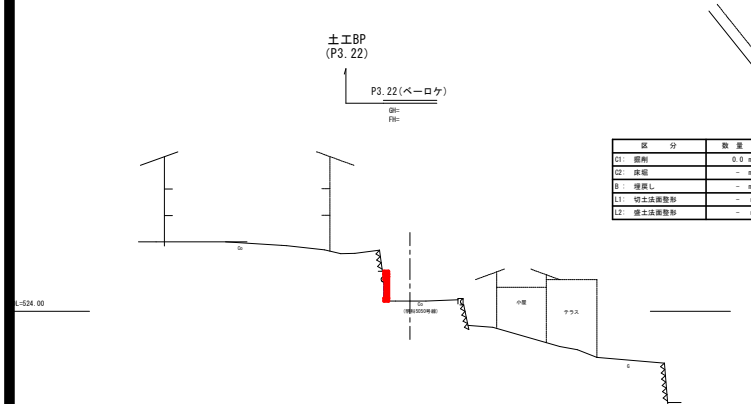
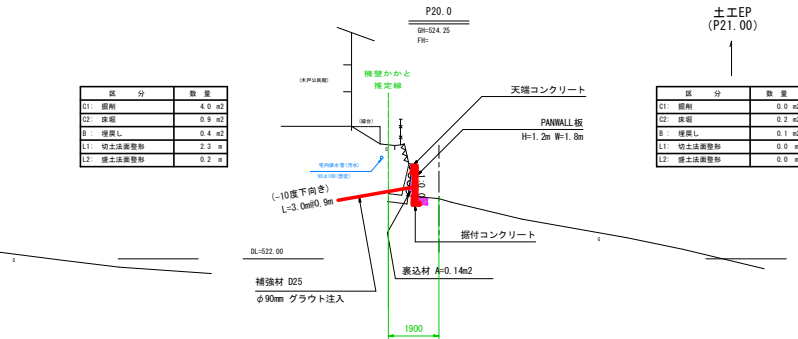
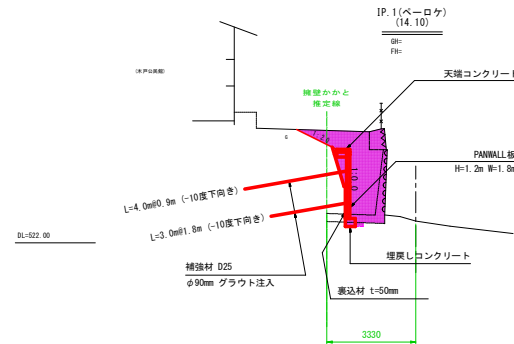
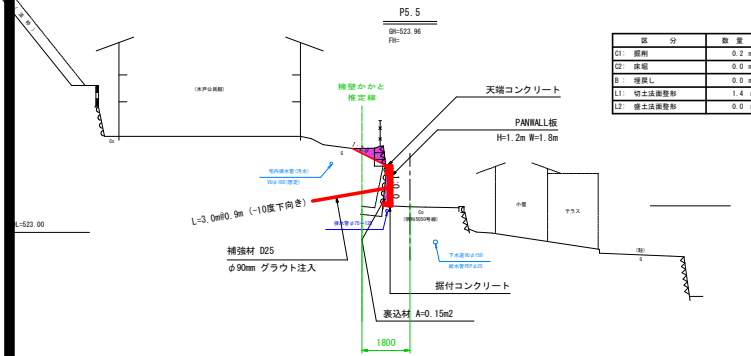
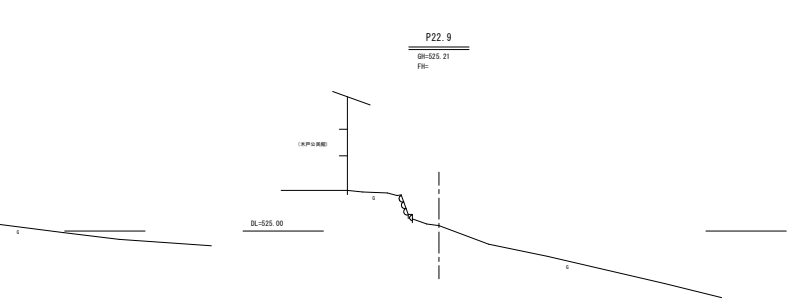
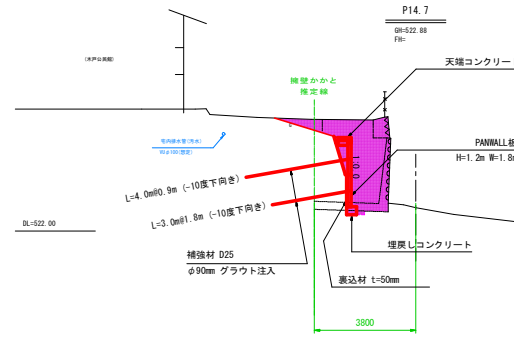
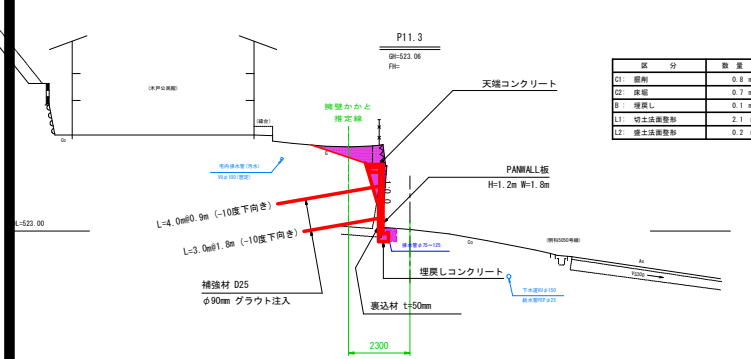
### 实施图

令和6年度 木戸公民館修繕補強工事				
番号	2/10	PW橋断図	図尺	図示
<p>木戸公民館</p> <p>安曇野市 明科 東川手</p>				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 総務部 財産管理課				

令和4年度 債務負担行為 木戸公民館擁壁測量調査設計業務委託

# 横断図 1

縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)



※ 現場確認事項  
・地下埋設物は、各種台帳や実測の基にした想定です。  
・調査設計時より安全確認のため拡大が起きている可能性のあることから、  
施工前に確認し、必要に応じて協議・変更を付してください。

2023 (R3) 04 12測量

令和6年度 木戸公民館施設補修工事

図号 3/10 横断図1 図尺 1/100 (A1)

木戸公民館

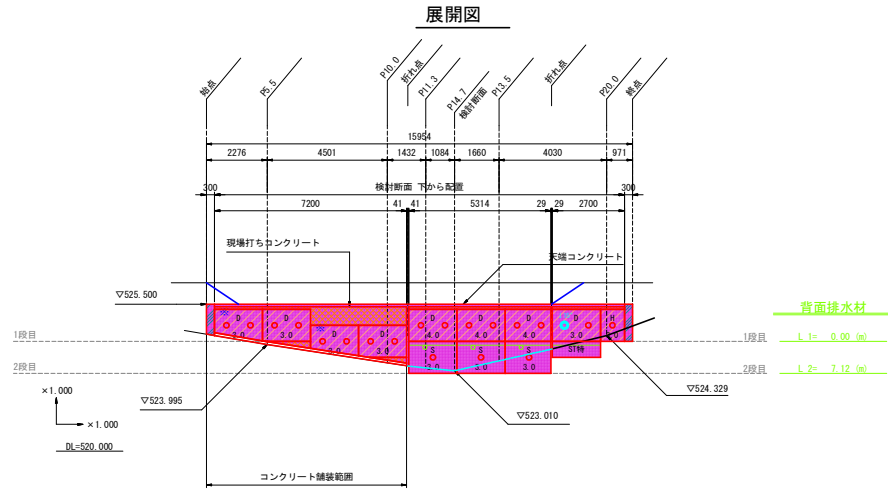
安曇野市 明科 東川手

設計会社 測量会社 調査会社

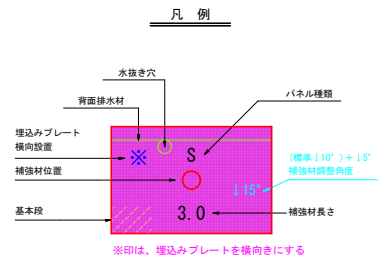
安曇野市 総務部 財産管理課

令和4年度 概算負担行為 木戸公民館施設測量調査設計業務委託

地山補強土工計画図 縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)



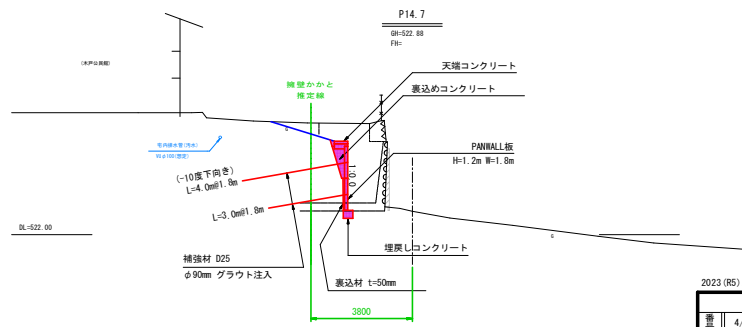
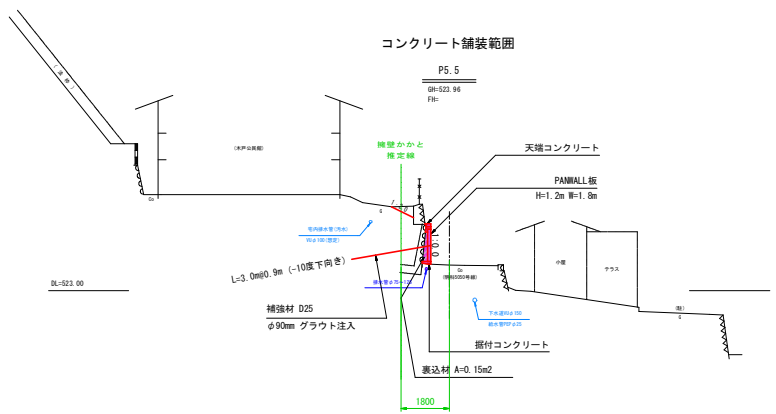
※形状及び施工順序等は現地調査後、再度精査を要します。  
※補強材打設角度は10° 下向きを標準とするが、補強材干渉回避のため  
15° 下向きにて 1箇所角度調整を行います。



パネル数量 (合計)

S/パネル	(1穴 1200*1800)	3	枚
CS/パネル	(1穴 台形タイプ)	0	枚
D/パネル	(2穴 1200*1800)	8	枚
CD/パネル	(2穴 台形タイプ)	0	枚
H/パネル	(1穴 1200*900)	1	枚
ST/パネル	(調整用切断タイプ)	0	枚
CT/パネル	(調整用切断・台形タイプ)	0	枚
ST特/パネル	(調整・最下段用 600*1800)	1	枚
テーパー座金 5°		1	個
テーパー座金 10°		20	個

標準断面図

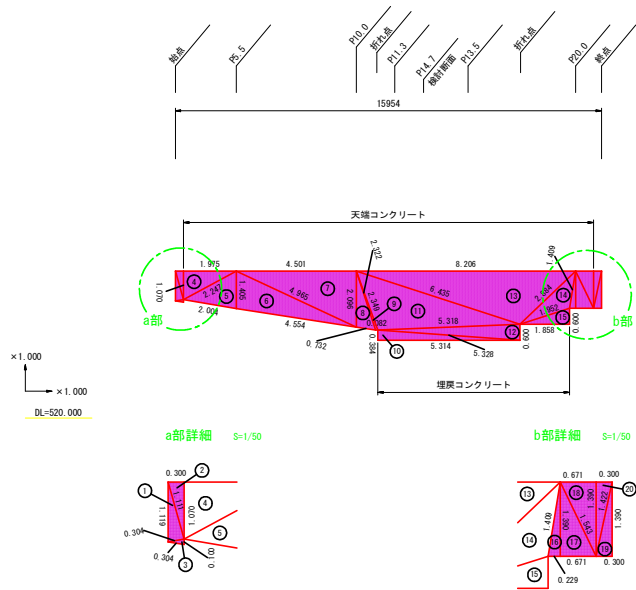


2023 (R5) .04.13測量

令和6年度 木戸公民館壁補強工事	図 示
4/10 地山補強土工計画図	図 示
木戸公民館	
安曇野市 明科 東川手	
設計会社	
測量会社	
調査会社	
安曇野市 総務部 財産管理課	



求積図



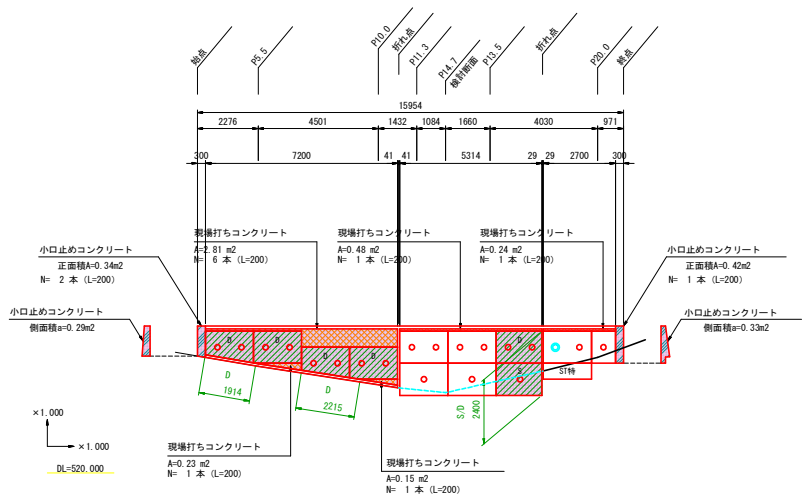
天端コンクリート L= 1.975+4.501+8.206+0.671 = 15.353m

埋戻しコンクリート L= 5.314+1.858+0.229+0.671 = 7.172m

No	a	b	c	(a+b+c)/2	面積 (m2)
1	1.119	0.304	1.111	1.267	0.168
2	1.070	0.300	1.111	1.241	0.161
3	0.304	0.100	0.304	0.354	0.015
4	2.247	1.975	1.070	2.646	1.057
5	2.247	2.004	1.405	2.828	1.388
6	4.554	4.965	1.405	5.462	3.162
7	2.096	4.501	4.965	5.781	4.717
8	0.732	2.322	2.096	2.575	0.758
9	0.082	2.349	2.322	2.377	0.092
10	0.384	5.314	5.328	5.513	1.020

No	a	b	c	(a+b+c)/2	面積 (m2)
11	5.318	6.435	2.349	7.051	5.949
12	5.328	0.600	5.318	5.623	1.594
13	2.884	8.206	6.435	8.763	8.173
14	1.409	2.884	1.952	3.123	1.224
15	1.858	0.600	1.952	2.205	0.557
16	1.409	0.229	1.390	1.514	0.159
17	0.671	1.543	1.390	1.802	0.466
18	0.671	1.543	1.390	1.802	0.466
19	0.300	1.390	1.422	1.556	0.208
20	1.422	0.300	1.390	1.556	0.208
施工面積					31.542

切断図



※現場打ち・小口止めコンクリートは、差筋アンカー(L=200)を4本/2.16m2にて計上しています。

切断パネル数量 (合計)

S/D/H/ST特パネル切断枚数	6 枚
S/D/H/ST特パネル切断長さ	6.53 m

現場打ちコンクリート

現場打ち打設面積	3.91 m2
現場打ち打設コンクリート (d=373)	1.46 m3
差筋アンカー (L=200)	10 本

※d(平均)=178+500\*3+189/5=373

小口止めコンクリート

現場打ち打設正面積A	0.76 m2
現場打ち打設側面積a	0.62 m2
現場打ち打設コンクリート (d=300)	0.19 m3
差筋アンカー (L=200)	3 本

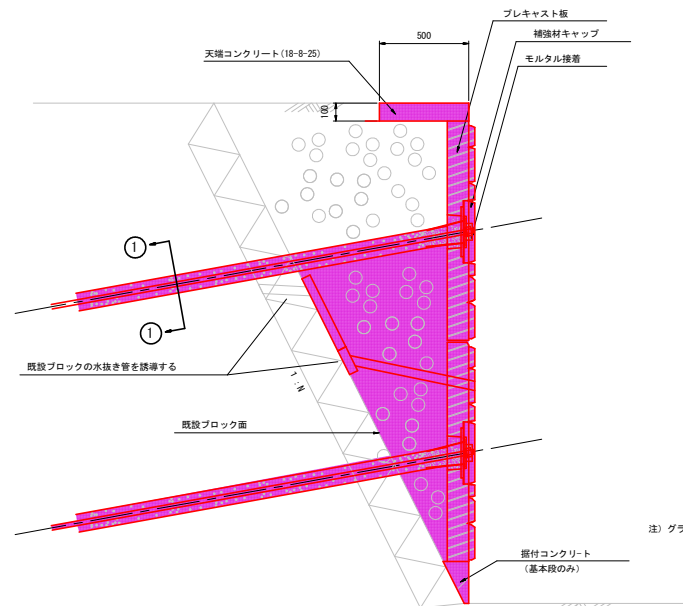
2023 (R5) .03.27測量(測量成果2011)

令和6年度 木戸公民館施設補修工事				
番号	5/10	PW数量見積書(求積・切断)	商民	図示
木戸公民館				
安曇野市 明科 東川手				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 総務部 財産管理課				

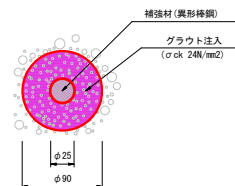
標準詳細構造図 S=1:15

## 地山補強土工構造図(1)

(ブロック積み補強)



○1 ○1 断面 S=free



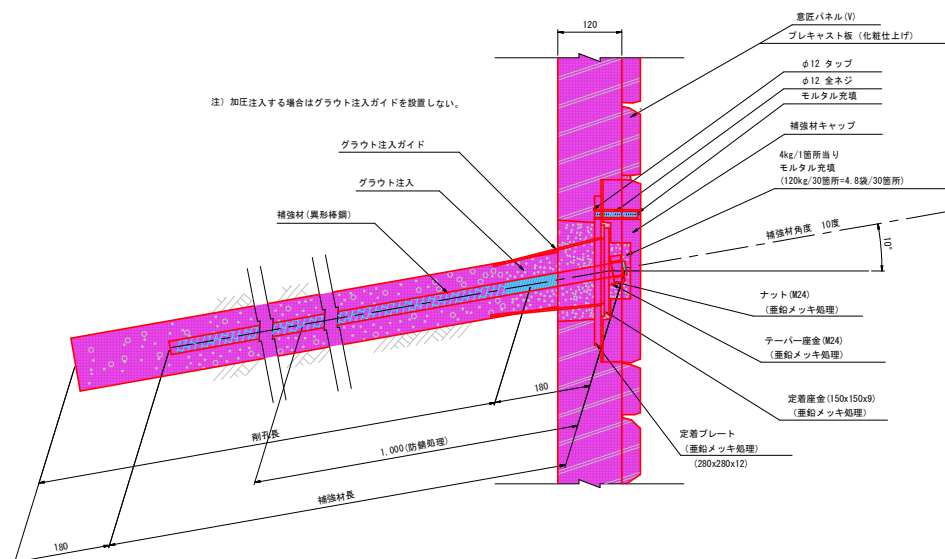
天端工		10m当り		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
型 枠		m2	(2.0)	0.2x10-2.0
コンクリート	18-8-25	m3	(0.5)	0.5x0.1x10-0.5

注) グラウト注入ガイドは充填材 (コンクリート) が硬化後に剛孔して挿入する。

定着部詳細構造図 S=1:5

※防錆処理は工場処理

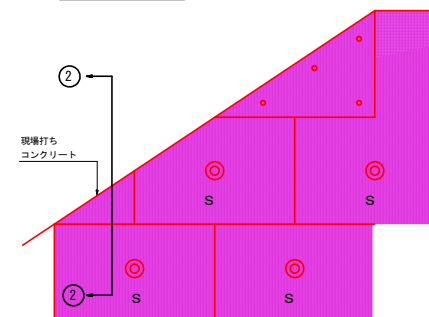
※補強材角度保持のため、テーパ座金を使用する。



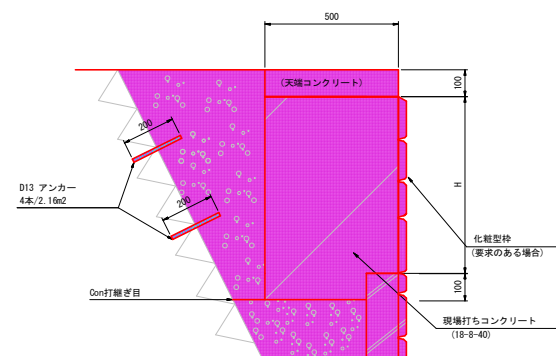
注) 加圧注入する場合はグラウト注入ガイドを設置しない。

天端拵合せ部詳細図

正面図 S=1:30



②-② 断面 S=1:10



現場打ちコンクリート		1 m3当り		
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
型 枠		m2	2.000	1.0/0.500-2.000
鉄筋アンカー	D13 L=200	本	-	4本/2.16m2
鉄 筋	D13 L=300	本	2	補強コン高200mm以上 2本/1.8m
コンクリート	18-8-40	m3	1.000	

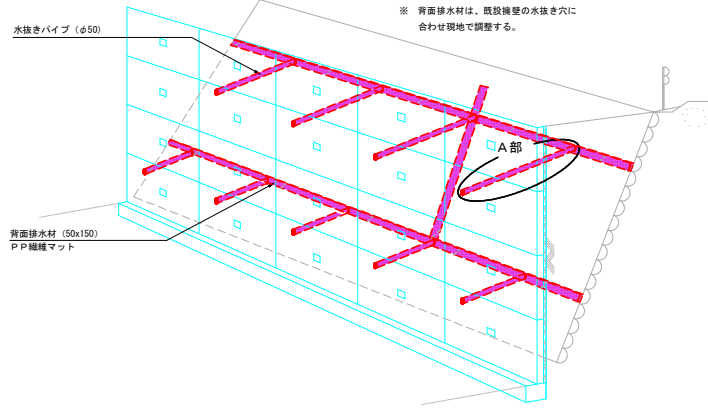
※既設ブロック等の補強の場合は現場打ちを基本とする。

参考図  
実施図

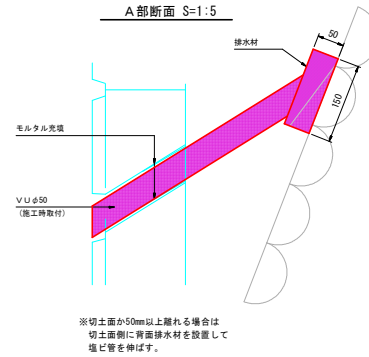
令和6年度 木戸公民館施設補修工事			
番 号	6/10	地山補強土工構造図(1)	縮尺 図 示
木戸公民館			
安曇野市 明科 東川手			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 総務部 財産管理課			

令和4年度 債務負担行為 木戸公民館施設測量調査設計業務委託

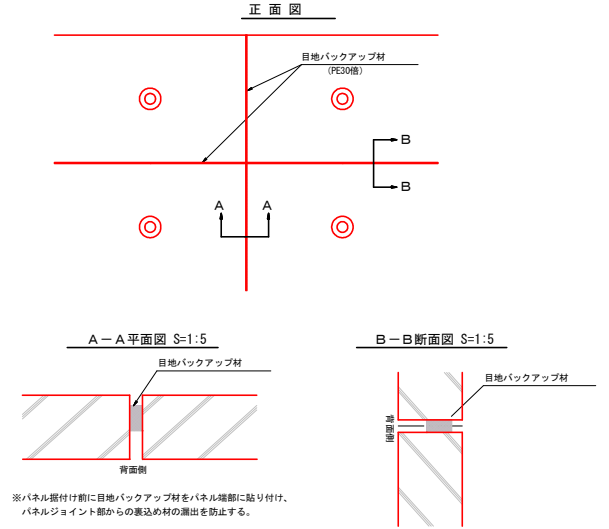
背面排水材設置図(参考図) S=1:50



地山補強土工構造図(2)



パネルジョイント部目地バックアップ材(参考図)



補強材及びスパーサー配置図 S=1:50

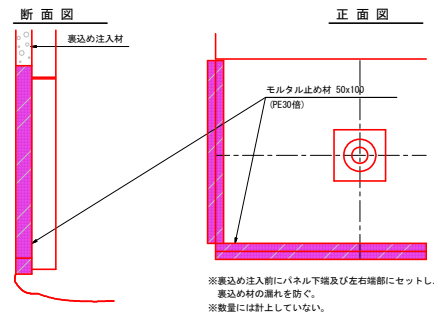
補強材長 (m)	規格 (m)	スパーサー (箇所)
2.0 (つなぎ無し)	2	2
2.5 (つなぎ無し)	2	2
3.0 (つなぎ無し)	3	3
3.5 (つなぎ無し)	3	3
4.0 (つなぎ無し)	4	4
4.5 (つなぎ無し)	4	4
5.0 (つなぎ無し)	5	5
5.5 (3.0+2.5)	5	5
6.0 (3.0+3.0)	6	6
6.5 (3.0+3.5)	6	6
7.0 (3.0+4.0)	7	7
7.5 (3.0+4.5)	7	7
8.0 (3.0+5.0)	8	8
8.5 (3.5+5.0)	8	8
9.0 (4.0+5.0)	9	9
9.5 (4.5+5.0)	9	9
10.0 (5.0+5.0)	10	10

○ : スパーサー

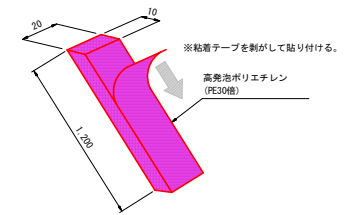
■ : 防食処理

■ : 継手 (抜出防止対応型)

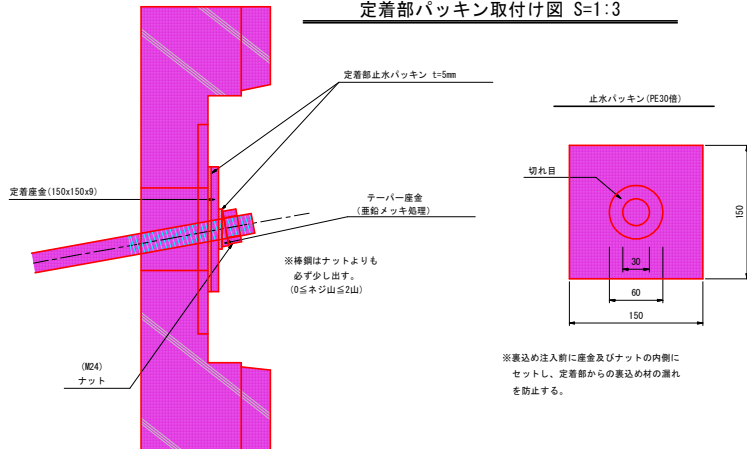
モルタル止め材使用例(参考図) S=free



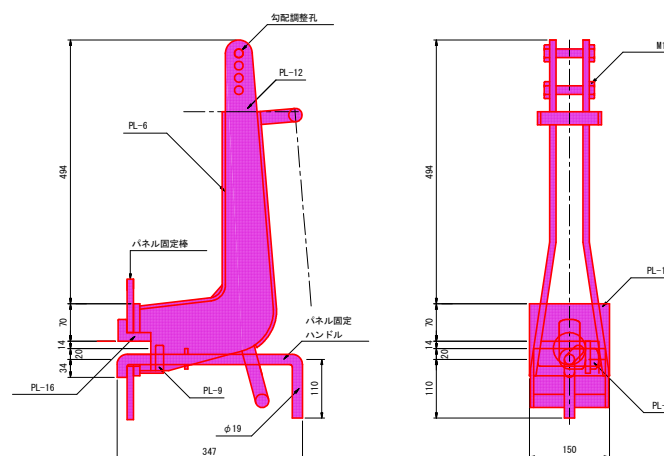
目地バックアップ材詳細図(参考図)



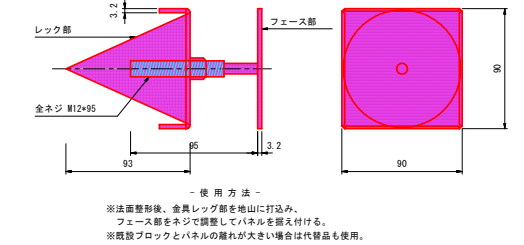
定着部バックシン取付け図 S=1:3



パネル吊り金具詳細図 S=1:5



据付金具構造図(参考図) S=1:2



参考図

令和6年度 木戸公民館壁補修工事			
期	7/10	地山補強土工構造図(2)	図示
木戸公民館			
安曇野市 明科 東川手			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安曇野市 総務部 財産管理課			



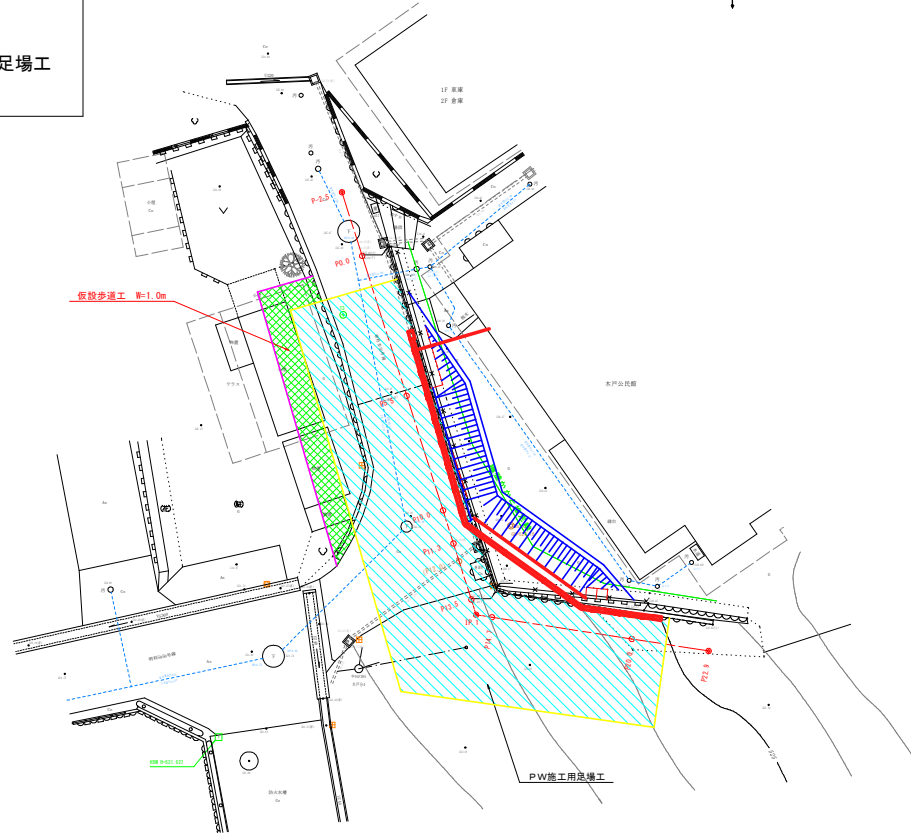
# 仮設歩道工

仮設工平面図

縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)

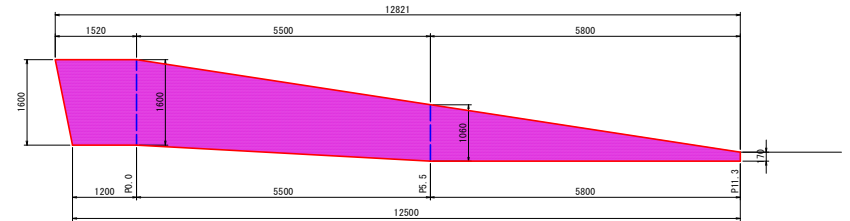


- 仮設歩道工
- PW施工用足場工



仮設歩道工展開図

縮尺 1/50 (A1)  
1/100 (A3)



## 仮設歩道工

手摺先行型枠組足場  $(1.52+1.20)/2 \times 1.60 + (1.60+1.06)/2 \times 5.5$   
 $+ (1.06+0.17)/2 \times 5.8 = 13掛m2$

参考図  
実施図

2023 (R5) . 03 . 27測量 (測量成果2011)

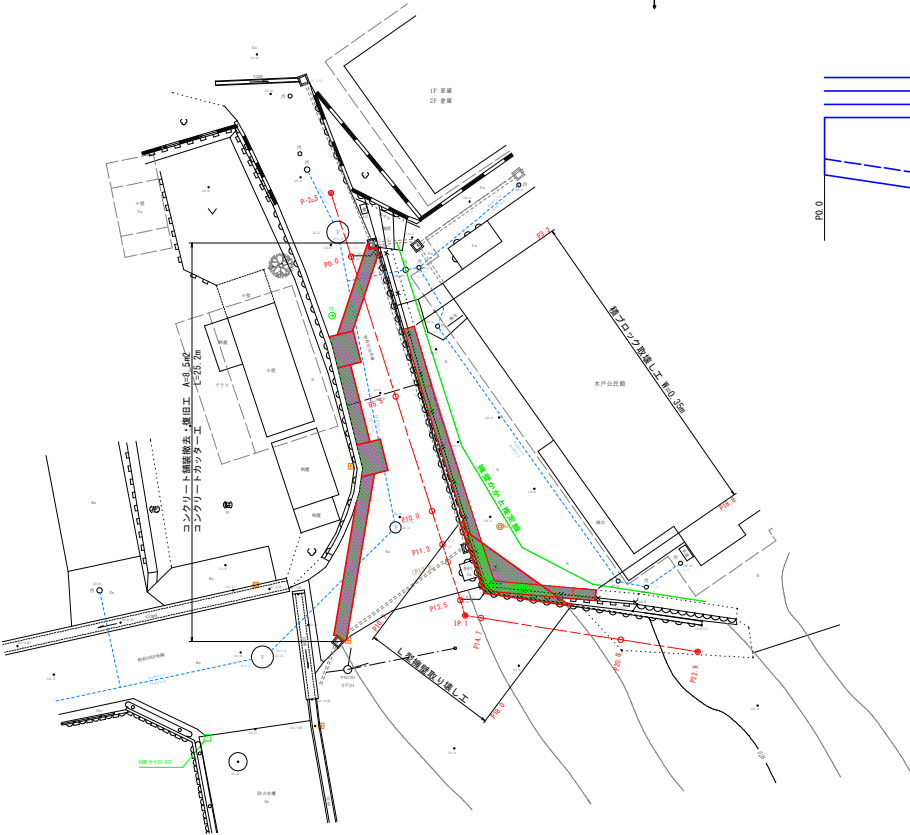
令和6年度 木戸公民館施設補修工事				
期	9/10	仮設歩道工	圖	示
木戸公民館				
安曇野市 明科 東川手				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 総務部 財産管理課				

※ 現場確認事項  
・地下埋設物や構造物、電線や管線などの隠蔽に注意してください。  
・調査設計時より実施範囲の拡大が起きている可能性があることから、  
施工前に確認し、必要に応じて協議・変更を行ってください。

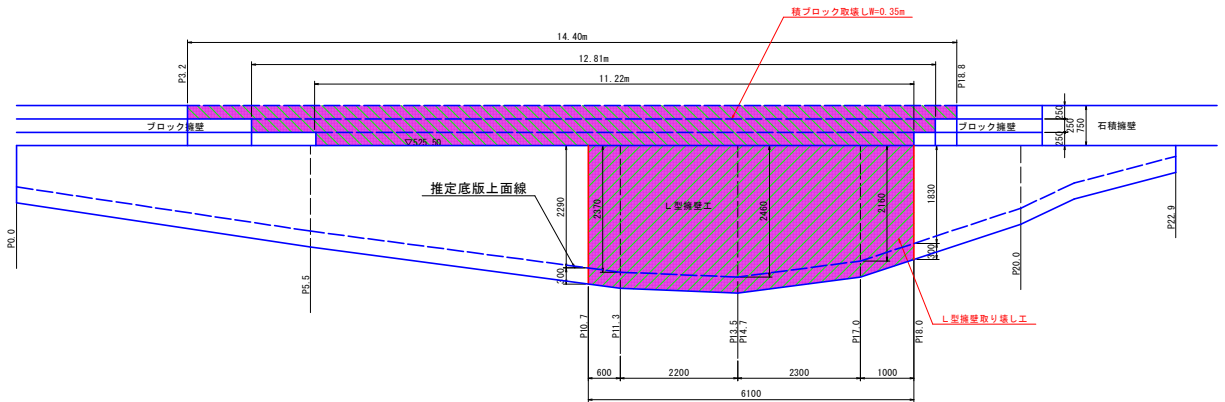
令和4年度 債務負担行為 木戸公民館施設測量調査設計業務委託

取壊し工詳細図

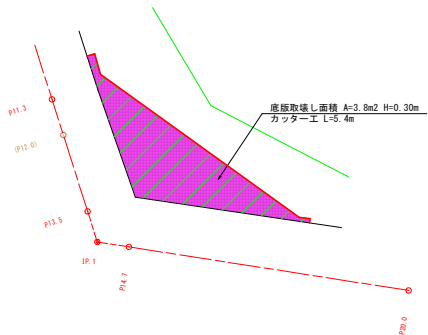
取壊し工平面図 縮尺 1/100 (A1)  
1/200 (A3)



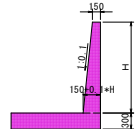
取壊し工正面図 縮尺 1/50 (A1)  
1/100 (A3)



L型擁壁工底版取壊し平面図 S=1:50



L型擁壁工標準断面図 S=1:50



2023 (R5). 03. 27測量 (測量成果2011)

令和6年度 木戸公民館擁壁補強工事				
番号	10/10	取壊し工詳細図	巻数	図示
木戸公民館				
安曇野市 明科 東川手				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市 総務部 財産管理課				

※ 現場確認事項  
・地下埋設物や構造物、電線や管線などの隠蔽に注意してください。  
・調査設計より実地調査の結果と異なる可能性があることから、  
施工前に確認し、必要に応じて協議・変更を行ってください。

令和4年度 債務負担行為 木戸公民館擁壁測量調査設計業務委託